

●臨床指標(クリニカル・インディケーター)

臨床指標(クリニカル・インディケーター)とは、病院の機能や診療実績等について、さまざまな指標を用いて具体的な数値として示したものです。指標を分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんにとって分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

指標		H28年	H29年	解説
病院全体に関する指標	入院延患者数(全病棟)	123,570	129,195	期間内にどれだけの方が入院されたかを示しています
	病床利用率(全病棟)	85%	85%	運用病床の平均利用率を示しています
	平均在院日数(一般病棟)	17.2	15.3	1人の患者さんが平均何日入院されているかを示しています
	在宅復帰率(療養)	64%	77%	自宅又は自宅以外の居宅へ退院した患者さんのうち、死亡退院を除いた割合を示しています
	外来延べ患者数	38,234	45,977	期間内にどれだけの方が外来受診されたかを示しています
	新規外来患者数	3,252	4,039	期間内に初めて外来にいられた患者さんの数を示しています
	1日平均外来患者数	142	170	1日平均何人の患者さんが外来受診されているかを示しています
診療機能に関する指標	身体抑制率	2%	2%	入院中に身体抑制があった患者さんの割合を示しています
	NST介入件数	37	25	チーム医療として患者さんに栄養支援が行われた件数を示しています
	栄養食事指導件数	260	361	栄養指導等により、患者さんに安全な食事療法支援が行われた件数を示しています
リハビリテーションに関する指標	リハビリテーション実施単位数(脳血管疾患等)	※155,247	200,655	各疾病に基づいて行われたリハビリテーションの実施単位数を示しています ※H28年は4月～12月までのデータ
	リハビリテーション実施単位数(運動器)	※157,086	217,252	
	リハビリテーション実施単位数(廃用症候群)	※12,147	7,026	
	在宅復帰率(回復期リハビリテーション病棟)	86%	86%	自宅又は自宅以外の居宅へ退院した患者さんのうち、死亡退院を除いた数を示しています
	日常生活機能評価重傷者率(回復期リハビリテーション病棟)	31%	30%	入院時の日常生活機能評価で重症(10点以上)の患者さんの割合を示しています(※19点満点で点数が低いほど自立度が高い)
	重症者回復率(回復期リハビリテーション病棟)	70%	76%	入院時に日常生活機能評価が重症(10点以上)だった患者さんが退院時に4点以上改善した割合を示しています(※19点満点で点数が低いほど自立度が高い)
	リハビリテーション実績指数(回復期リハビリテーション病棟)	30.9	35.2	日常生活の改善と入院日数を指数化したもので、短期間に大きく改善した患者さんが多い方が数値が高くなります(27点が回復期リハビリテーション病棟の最低基準)
入院患者1人1日当たりのリハ実施単位数(回復期リハビリテーション病棟)	6.2	6.3	入院患者さん一人当たり1日平均何単位リハビリを実施したかを示しています(1単位は20分)	
感染対策に関する指標	職員のインフルエンザワクチン接種率	96%	91%	職員のインフルエンザワクチン接種の割合を示しています
医療安全に関する指標	インシデント件数	843	766	医療安全管理委員会へ報告されたインシデント件数です
	アクシデント件数	17	24	医療安全管理委員会へ報告されたアクシデント件数です
	転倒・転落発生率	2.73%	2.28%	入院患者さんが院内で転倒・転落された割合を示しています
	入院患者の転倒・転落による損傷発生率(事故分類レベル2以上)	1.76%	1.63%	転倒・転落された入院患者さんのうち、レベル2以上の損傷が発生した割合を示しています
	入院患者の転倒・転落による損傷発生率(事故分類レベル4以上)	0.10%	0.07%	転倒・転落された入院患者さんのうち、レベル4以上の損傷が発生した割合を示しています